



2019年5月15日

各位

会社名 CRGホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 古澤 孝
(コード番号：7041 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役管理本部長 小田 康浩
(TEL. 03-6302-0834)

2019年第2四半期業績予想と実績との差異、 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2018年11月13日に公表いたしました2019年9月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2018年11月13日に公表しました2019年9月期通期連結業績予想を、下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2019年9月期第2四半期連結業績予想と実績値の差異

(1) 2019年9月期第2四半期(2018年10月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	11,422	282	281	161	29.95
実績値 (B)	11,262	179	167	104	19.37
増減額 (B-A)	△159	△102	△114	△56	
増減率 (%)	△1.4	△36.3	△40.6	△35.3	
前年同期実績	-	—	—	—	—

(注) 2018年9月期第2四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年9月期の数値は記載しておりません。

(2) 2019年9月期第2四半期連結業績予想値との差異の理由

当社グループは、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、それに伴う構造的な人手不足を解決するために、主力の人材派遣紹介事業における「継続的な労働力の提供」に加え、専門ノウハウを活用した請負業務における「労働生産性の向上支援」、AI/RPAといった「代替労働力の提供」などのサービスを提

供しています。

当第2四半期連結累計期間におきましては、グループ会社である株式会社ジョブスにて、従来から行っているイベントの設営・労働力の供給だけでなく、イベントの企画・運営から携わることにより、派遣スタッフにとって魅力的な雇用機会を創出し、収益の拡大を図ることを目的に「イベント事業」を立ち上げました。また、株式会社イノベーションネクストにおいては、働き方改革に伴う残業時間の抑制、及び労働生産性の向上支援を目的に、AI（人工知能）、OCR（光学文字認識）、RPA（業務自動化）の技術を複合し、紙帳票のPC入力作業から、その後の業務フローにおいても自動化することが可能となる「AI-OCR+RPAソリューション事業」を開始し、株式会社キャストイングロードにおいては、テレマーケティング等を行う主力のコールセンター向け派遣に加え、ミドル・エグゼクティブ人材を対象とした「ハイキャリアエージェントサービス事業」を始めるなど、中長期的な業容の拡大を図るための新規事業の立ち上げに注力してまいりました。

しかしながら、株式会社ジョブスの「イベント事業」にて、2019年2月に開催したイベントが想定していたよりも動員数が上がらず、売上計画を大幅に下回った結果、本イベントにおいて損失82百万円を計上することとなりました。

2. 2019年9月期通期連結業績予想の修正について

(1) 2019年9月期通期（2018年10月1日～2019年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	23,426	771	766	456	84.26
今回修正予想 (B)	22,975	579	564	343	63.38
増減額 (B-A)	△450	△191	△201	△113	
増減率 (%)	△1.9	△24.8	△26.4	△24.8	
前年同期実績	20,628	569	559	336	71.52

(2) 2019年9月期通期連結業績予想修正の理由

2019年第2四半期連結業績予想値との差異に相当する額を、2019年9月期通期連結業績予想に反映するとともに、売上高につきましては、物流等ブルーカラー系人材の確保が困難であることなど、外部環境の変化による売上機会損失に伴う影響額を修正いたします。また、営業利益につきましては、新規事業の立ち上げ等に係る優秀な人材の早期獲得を行ったことにより、人件費の増加を見込んでいることから、前回公表数値を変更することといたしました。

以 上